
ホワイトキュラソー

流憂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ホワイトキュラソー

【Nコード】

N2210C

【作者名】

流憂

【あらすじ】

大好きなホワイトキュラソーを片手に待ってた心境の詩です

(前書き)

こちらは私の今の心境を書いたものです。小説ではないので、わかりにくいかと思いますが、片想いに苦戦してる方に読んでもらえたら嬉しいです(*^^*)

汗をかくグラスを

持っては置いてを繰り返す

あなたからの電話を待っているせつかちな私

ずっと友達のままなのか・・・と

臆病な自分が嫌いになる

そんな私でもやっぱりあなたに会えると笑顔になる

あなたと手を繋げそうな距離なのに・・・繋げないもどかしさ

友達が越えられない・・・私の事どう思ってるの？

切なくなってしまう

不意に見せるあなたの笑顔

抱きしめたくなるのよ

あなたの優しさを全部私に・・・

甘くて苦い私の好きな味に似てる私の恋

大好きなホワイトキュラソー

時々私を酔わせてしまうホワイトキュラソー

その魔法は特別すぎる・・・きつと私を大胆にしてくれる

いつも言えなくて切なくなってしまう・・・

たった二文字が・・・目の前にいるのに言い出せない私

いい女には駆け引きが上手なんて言うけれど

私は

「好き」

すら言えないの

ホワイトキュラソーの魔法で言えたらいいのに・・・淡い夢を見て
しまう

ああ・・・また今日も言いそびれてしまった・・・(; o ;)

あなたの優しさや笑顔

独り占めしたくなる私

他の人と同じく接しないでね

もっと勇気があったら・・・二文字は簡単なのに

甘くて苦い私の好きな味に似てる私の切ない恋

あなたもきつと好きな味だわ

二人でグラスを並べて・・・魔法にかかったかのように幸せな時間を
・・・

なあんて言えたらいいのになあ

汗をかくグラスに手をのばす・・・Ah♪やっとあなたからだ
やっぱり笑顔になる私

ホワイトキュラソーの魔法のせいかな？

あなたが待ちどおしい・・・

大好きなあなたと乾杯

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2210c/>

ホワイトキュラソー

2010年12月7日03時44分発行